

漁業担い手確保・育成の支援フロー

～岩手の漁業を知る機会づくりから漁業での自立まで一貫した活動を支援～

青少年、漁業志向青年等に対する漁業就業の機会づくり（公1）

（助成事業）

- ・小中学生を対象とした漁業体験学習
- ・水産高校生徒による研究実践活動
- ・社会人を対象とした漁業体験の場の開催

（自主事業）

- ・漁業担い手ポータルによる情報発進、漁業就業への個別相談
- ・冊子「いわて漁師への道ガイドブック」等の作成

漁業就業にむけた知識習得、現場経験の場（公2）

（助成事業）

- ・新規漁業就業者の技術研修
- ・新規就業者のネットワーク作り
- ・新規漁業就業者の長期研修

- ・新規漁業就業者の資格取得への半額助成

（自主事業）

- ・全国漁業就業フェアへ出展

いわて水産アカデミー運営協議会の運営・支援（公2）

- ・運営協議会事務局（R4～）
- ・講義、修了生フォローアップ
キャリア教育の強化（岩手大学）

地域の将来を担う担い手リーダーの育成（公3）

（助成事業）

- ・漁協青年部・女性部の研修や交流、研究活動
- ・県漁業士等地域リーダーの研修交流活動（地域・全国）



いわて水産アカデミー入講式

① 青少年、漁業志向青年等に対する漁業就業の機会づくり(漁業担い手確保対策事業)

将来を担う漁業後継者の確保や漁業就業意識の向上に資するため、小中学生・高校生を対象とする体験学習や現場実習等の活動及び漁業志向青年等を対象とする漁業体験学習等の活動を支援します。

事業名	主な内容	事業対象者	助成額
小中学生漁業体験・学習事業	漁業体験及び学習等に要する経費に助成	・青年等漁業者が組織する団体 ・漁業協同組合 ・青少年育成組織 ・水産高校等	1団体5万円以内
水産高校等連携育成事業	生徒の現場実習、技術者の学校での実践指導、共同研究及び小中学校との連携等に要する経費に助成	・地域関係者で構成する連携組織 ・水産高校等	1団体100万円以内
漁業志向青年等体験学習事業	漁業体験、現地見学会の開催及び漁業就業に関する知識習得研修に要する経費に助成	・地区協議会等 ・漁業協同組合等	1事業20万円以内

助成事業の支援事例 (その1)



末崎中学校ワカメ養殖体験



エゾシカゲ飼育試験(高田高校)



ウニ採捕・加工体験(種市中)



中学生一日体験入学



体験漁業の実施

② 漁業就業にむけた知識習得、現場経験の場（漁業担い手育成対策事業）

新規就業者（※）の定着を促進するため、新規就業者間の情報交換や自立に向けた研修及び青年漁業者の国内先進漁家、企業体、市場等での研修又は課題解決能力向上のためのOJT研修等の活動を支援します。

事業名	主な内容	事業対象者	助成額
新規漁業就業者交流事業	新規漁業就業者（就業3年以内の者）の情報交換会開催に要する経費に助成	<ul style="list-style-type: none"> ・地区協議会 ・漁業協同組合等 ・地区又は全県範囲で主催する実施組織 	1事業10万円以内
新規漁業就業者技術研修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就業者を受け入れて指導する経費に助成 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・受入経営体（実践研修生と3等親以内の親族を除く） ・実践研修生：45歳未満（アカデミーを除く）、6月以上研修、営漁計画を有する者 	・1経営体30万円以内（年額）
OJT研修支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・国内先進漁家等技術研修に要する経費に助成（1月以内） ・OJT研修に要する経費に助成（3月以内） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規漁業就業者、青年漁業者 ・青年漁業者で、県内で継続4年間漁業就業し研修計画を有する者 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内研修 1人10万円以内 ・OJT研修 1人30万円以内

新規就業者（※）：45歳未満の者（いわてアカデミー研修修了生を除く）、かつすでに漁業就業している場合は就業5年以内の者。

③ 地域の将来を担う担い手リーダーの育成(青年等漁業者組織活動支援事業)

漁業に誇りと希望を持ち、社会の変化にも対応できる漁業者の育成や漁村のリーダーを育成するため、青年等漁業者グループが行う研究実践活動や経営改善研修及び各種交流活動等の自主的活動を支援します。

事業名	主な内容	事業対象者	助成額
研究グループ等活動事業	<ul style="list-style-type: none"> ・生産技術の開発導入、水産物加工・付加価値向上等の試験及び生活・むらづくり活動に要する経費に助成 ・漁業技術、経営改善、水産加工技術及び各種資格取得等の研修に要する経費に助成 	青年等漁業者3人以上で構成され、かつ漁業又は漁家生活等の研究活動を推進する目的で組織されているグループ(以下「青年等グループ」という。)	<ul style="list-style-type: none"> ・実践研究活動 1課題35万円以内 ・研修活動:1グループ25万円以内 ・資格取得:1グループ20万円以内(1/2以内)
青年等交流活動促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換会、都市漁村間等交流に要する経費に助成 ・地区活動実勢発表大会の開催に要する経費に助成 	青年等グループ 地区又は全県範囲で主催する実施組織	<ul style="list-style-type: none"> ・情報・交流活動 1事業20万円以内 ・地区発表大会 1事業10万円以内
地域リーダー研修事業	漁村の活性化を推進するリーダー育成を目的とした研修会等の開催に要する経費に助成	地区又は全県範囲で主催する実施組織	1事業10万円以内



研究活動(アサリ採苗試験)

助成事業の支援事例 (その2)



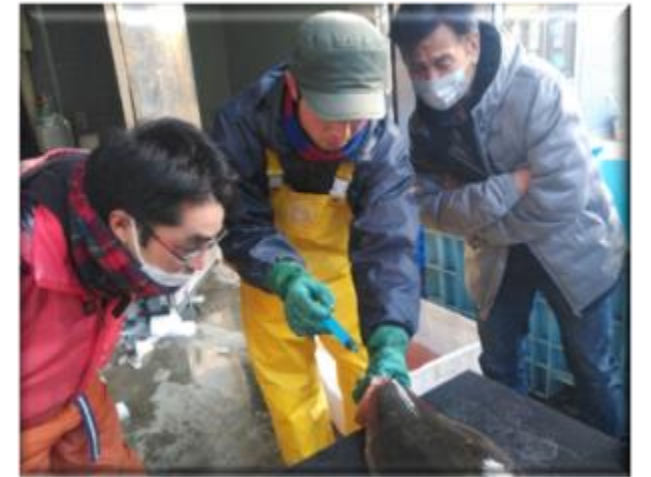
活動実績発表・交流会



首都圏での直売活動



漁業士交流会・研修会



先進地視察(神経締め処理)

○新規漁業就業者の資格取得への助成

新規漁業就業者を対象に、漁業就業に必要な各種の資格取得への助成を行っています。

- ・対象：フォークリフト、クレーン、潜水士免許など
- ・助成：講習料・テキスト料の1/2以内（税抜き）1人10万円まで
- ・時期：令和6年4月～随時受付（漁協を通じて申請手続き）
- ・予算額（R6）：100万円



注)

アカデミー研修生は、
研修修了後から5年間は
申請することができます
(年齢制限もありません)

○被災地次世代人材確保支援事業等（国庫補助事業）の概要

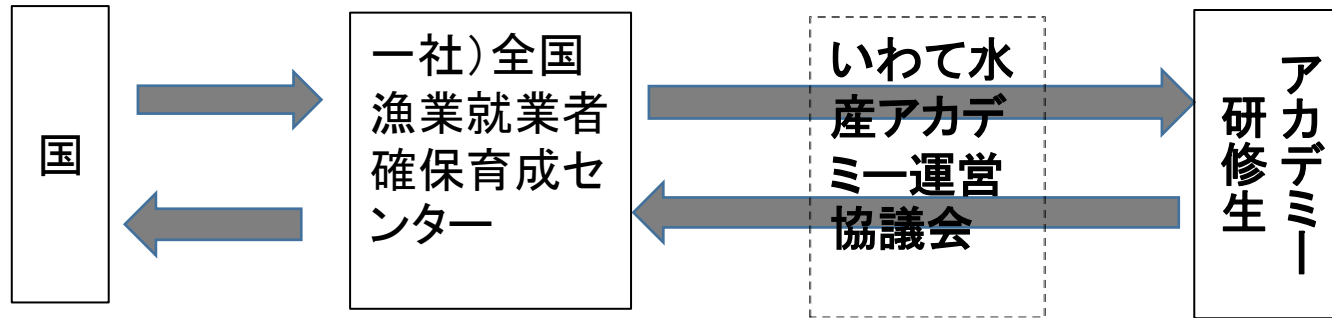
事業名	次世代人材投資（準備型）事業	長期研修支援事業
支援対象	漁業学校等での就学 （最大1年 ※中断可）	漁業現場での長期研修 雇成型1～2年 独立型1～3年（注の1）
助成先	研修生（アカデミー研修生）	指導者（1指導者1名まで）＝2次受入機関
支援額	125,000円/月（定額）	雇成型 117,500円/月（平均） 独立型 188,000円/月～282,000円/月（最終年） 漁家子弟型 94,000円/月（2年間）（注の2）
条件等	年齢制限：就業時45歳未満 雇用契約：不可 3等身以内への就業：不可 漁業経験：過去累積1年以上は不可	年齢制限：なし 雇用契約：必要（雇成型の場合） 漁業経験：過去累積1年以上は不可
修了後	1年以内の漁業就業 就業後2年間の就業状況報告	5年間の定着状況報告（年度末）
申請窓口	岩手県漁業担い手育成基金	所管する漁協

（注の1）独立型で最終年において研修生が水揚収入を得る場合、直接支援制度（実践型）があります。

（注の2）漁家子弟型：3親等以内への就業を対象としたメニューで一律94,000円/月です。

被災地次世代人材確保支援事業等の支援スキーム

次世代人材投資(準備型)事業



漁業就業支援フェア(東京)

長期研修支援事業

